

2021（令和3）年度前期 地域学総説講義計画

地域学総説A：つなぐ・つながる（水曜5限 A20・C51講義室・オンライン）

1回	4月14日	村田周祐 × 稲津秀樹 × 竹内潔	地域学の現在地	オンライン
2回	4月21日	新妻弘明（日本EIMY研究所所長） （担当：竹内）	知る・分かる ー地産地消エネルギーから現代文明を問いなおす	オンライン
3回	4月28日	吉田恭大（歌人、ドラマトゥルク、舞台制作者） （担当：岡村）	詩歌と劇場 ーもうひとつの世界をとどける	対面
4回	5月12日	津田敦也（セイコーエブソン株式会社ビジュアルプロダクツ事業部 部長） （担当：白石）	見る・観る ーこれまで見たことのないものを作る	対面
5回	5月19日	山西哲郎（市民マラソン指導者） （担当：関）	走る ー走るは対話でありつながりの世界	対面
6回	5月26日	内田真弓（ART SPACE LAND OF DREAMS代表） （担当：ギンナン）	感じる ー裸足のアーティストに魅せられて	対面
7回	6月2日	高橋ケンジ（Webマガジン「恵比寿新聞」編集長） （担当：村田）	伝える ー身近な他者こそ面白い	対面
8回	6月9日	黒川優子（元夜間中学校教員） （担当：石山）	学ぶ ー学ぶことは生きのびること	対面

◎コーディネーター／サブ・コーディネーター：村田周祐・稲津秀樹

◎コース担当教員／（地域創造）菰田レエ也（人間形成）住川英明（国際地域文化）岡村知子

◎TA／（森田裕也） ・ （佐伯恵里）

◎講義の構成は次の通り。終了時、出席票を兼ねた小テストを毎回行います。

時間（90分）配分＝5分：フィードバック + 75分：講師の講義 + 10分：質疑応答

小テスト：①講義内容の要約、②指定の問いへの回答

◎「総説A」の成績評定は、①毎回の出席点および報告点（8回×5点）、②期末レポート（60点）によって評価する。

※最終レポート課題：これまでの講義内容から関心を持ったことをひとつ以上取り上げ、あなたの暮らしの場のこれまで・これからについて考えてみてください。そのとき「つなぐ・つながる」という考え方・視点をふまえてください。

A4 1枚（表紙無し：文量は自由） 締め切り日：6/16まで Manabaで提出

◎「総説A」については2回以上の欠席で単位を失うことになるので注意すること。

地域学総説B：つながりの再検討ーゆるやかなつながりから考える（水曜5限・A20講義室・オンライン）

9回	6月16日	伊沢正名（糞土師） （担当：村田）	自然と私たちのつながり ー共生とは、食べて奪った命を（自然に）返すこと	対面
10回	6月23日	治田裕臣（緑浄寺住職） （担当：田中）	他者と私たちのつながり ー尊いとは	対面
11回	6月30日	松川えり（てつがくやさん） （担当：丸）	知と私たちのつながり ーはなして、きいて、かんがえる対話	対面
12回	7月7日	小林勝年 × 稲津秀樹	映画「こんばんは」の世界の再検討	対面
13回	7月14日	白石秀壽 × 菰田レエ也	高橋ケンジの活動の再検討	対面
14回	7月21日	アレクサンダー・ギンナン × 吳永鎬	アポリジナルアートの世界の再検討	対面
15回	7月28日	稲津秀樹 × 村田周祐 × 竹内潔	つながりの再検討 ーゆるやかなつながりから考えるー	対面

◎コーディネーター／サブ・コーディネーター：村田周祐・稲津秀樹

◎コース担当教員／（地域創造）菰田レエ也（人間形成）住川英明（国際地域文化）岡村知子

◎TA／（森田裕也） ・ （佐伯恵里）

◎「総説B」「総説C」は「総説A」の授業期間中に履修希望を募ります。

◎「総説B」は「総説A」と同じ題材を「つながり」から再検討し、「総説A」の学びを深める。

9～11回 講師の講義（60分）＋グループ討論・質疑応答（30分）

12～15回 講師の講義（30分）＋グループ討論（30分）＋議論のシェア（30分）

◎「総説B」の成績評定は、①毎回の出席点および報告点（7回×5点）、②期末レポート（65点）によって評価する。

※最終レポート課題：総説A・Bの講義内容をふまえて、あなたにとっての「地域学」とはなにかについて論じてください。

◎「総説B」については1回以上の欠席で単位を失うことになるので注意すること。

◎講義室は変更の可能性があります。